

とやま呉西圏域連携事業の主な取組み

15 呉西地区成年後見センター運営事業

将来的な成年後見制度対象者の増加を見込み、相談から後見まで一貫した支援ができる成年後見センターを設置・運営し、成年後見制度に係る各種業務等の共同利用を図る。

呉西地区成年後見センター(平成31年4月1日 開設)

成年後見制度の利用の促進に関する法律(平成28年)に基づき策定された国の成年後見制度利用促進計画では、令和3年度までに市町村において、連携ネットワークの中核機関の設置を求めている。

これを受けて呉西圏域では、将来的な成年後見制度対象者の増加を見込み、共同利用を図りながら相談から後見まで一貫した支援ができるよう、6市、各市社会福祉協議会が協議を進め、平成31年4月、開設。

設置場所 : 高岡市社会福祉協議会内

後見業務

家庭裁判所から依頼のあった案件について、後見業務を行う。

今年度の後見受任の実績は6件。

(令和5年2月時点)

今後、受任件数をさらに増やしていきたい。

《後見受任の内訳》

高岡 3件、射水 1件、氷見 1件、砺波 1件

市民後見人養成講座の開催

令和4年度修了者: 13名

(令和5年2月時点)

市民後見人バンク登録者数: 68名

成年後見センターでの主な業務内容

- ・成年後見制度に関する相談業務
- ・市民後見人養成講座 ⇒バンク登録
- ・法人後見業務

相談件数、受任件数の増加に対応するため、令和5年度は専門職を1名増員予定

とやま呉西圏域連携事業の主な取組み

16 子ども福祉支援相互連携事業 (1) 子ども医療費助成事業 ※H29から継続、R5拡充

助成方法の統一により、手続の煩雑さが解消され、利便性の向上が図られる。また、行政及び医療機関は事務負担の軽減が期待できることから、圏域住民が6市の「こども医療費助成制度」を利用して圏域内の医療機関を受診する場合における助成方法を、現物支給に統一する。

子ども医療費の現物給付助成の対象保険医療機関の拡大

1歳～中学3年生(0歳はもとより県内全域)は、圏域内6市の保険医療機関等を受診したとき、**受給資格証**の提示より医療機関窓口で負担なしで受診できるようになった。

⇒令和5年4月1日、現物給付助成の対象年齢を「18歳以下」まで拡大！

呉西圏域の取組みが
県内全域に拡大
(令和4年4月～)

呉西全6市において
対象年齢を拡大！
(令和5年4月～)

対象区域の拡大、手続の簡素化

	～平成29年3月31日	平成29年4月1日～	令和4年4月1日～	令和5年4月1日～
高岡市	高岡市・射水市・砺波市・小矢部市・氷見市内の保険医療機関	県西部6市の 保険医療機関 (連携事業化)	富山県全域の 保険医療機関	対象年齢を 18歳以下まで拡大 (出生日から、 満18歳に達する日以降の 最初の3月31日まで)
射水市	射水市・高岡市内の保険医療機関			
氷見市	氷見市・高岡市内の保険医療機関			
砺波市	砺波市内の保険医療機関			
小矢部市	小矢部市内の保険医療機関			
南砺市	南砺市内の保険医療機関			

とやま呉西圏域連携事業の主な取組み

16 子ども福祉支援相互連携事業 (2) 児童発達支援人材育成事業

児童発達支援に係る人材育成により、各施設の職員レベルが向上し、圏域の児童発達支援体制の充実を図る研修会や派遣を通じ、児童発達支援に係る人材育成を図るとともに、施設運営のあり方や供給量について検討する。

きずな子ども発達支援センター研修

とやま呉西圏域の保育士・幼稚園教諭を対象に、発達支援について講義、演習・グループワークを通じて人材育成を図り、各施設の職員レベルが向上し、圏域の児童発達支援体制の充実を図る。

日程	内容	講師・担当	会場	参加者数
6月 8日	講義 「子どもとのよいかかわり方を学ぼう ～ティーチャーズ・トレーニングの手法を活かして～」	発達支援専門員	射水市役所	28
6月 29日			砺波市役所	27
7月 6日	講義 「手の発達について」	作業療法士	南砺市役所	17
8月 17日			氷見市役所	18
7月 27日	講義 「子どもの運動発達や遊びの指導について」	理学療法士	高岡市ふれあい福祉センター	26
8月 10日			小矢部市総合保健福祉センター	14
7月 20日	講義 「ことばに遅れのある児童の理解と支援」	言語聴覚士	氷見市役所	18
8月 24日			砺波市役所	26
6月 15日	講義 「発達障害の理解と対応」	育成科長・特別支援教育指導員	射水市役所	24
7月 13日			南砺市役所	17
6月 22日	講義 「就学までに育てたい力」	発達支援室室長・特別支援教育指導員	小矢部市総合保健福祉センター	23
8月 3日			高岡市ふれあい福祉センター	26



延べ参加者数: 264名

とやま呉西圏域連携事業の主な取組み

17 ICT教育環境に関する調査・研究

ICTを活用した双方向授業を実現するための環境整備を進めるに当たり、各市の検討状況や先進事例等の有用な情報を6市間で共有するとともに、各市がICT環境整備や有効に活用するための研修について調査・研究を進める。

ICT活用研修会(令和4年6月2日)

参加者:62名

ICT教育の環境整備の推進及び研修の充実により、未来を担う圏域の児童生徒に対する教育の質の向上を図ることを目的とし、呉西圏域6市の教員を対象に、ICT活用研修会を開催した。

【会場】オンライン(各勤務校等)

【内容】「学校でいつでも使うICT活用」

- ・教員のICT活用能力向上のために必要なことは？
- ・学校教育におけるICTの効果的な活用の実践は？
- ・オンライン授業で教師が意識すべきことは何か？

【講師】信州大学学術研究院 教育学系・准教授
佐藤 和紀 先生



※開催市持ち回り

⇒令和5年度は氷見市主催となり、講演会を開催予定

とやま呉西圏域連携事業の主な取組み

18 歴史文化の学び交流事業

圏域の歴史・文化を相互に学ぶ機会を創出するため、交流講座の実施や合同企画の検討を行う。

6市学芸員による交流講座

圏域の歴史・文化を相互に学ぶ機会を創出するため、各市の学芸員が他市の生涯学習講座等に出講する交流講座を開催。令和4年度は、当年度の相互交流の相手方以外の市でも、双方の合意により追加講座を実施しました。

【高岡市会場】

令和4年9月3日(土)
『奈良時代の氷見と小窪廃寺』
廣瀬直樹(氷見市立博物館主査)

【小矢部市会場①】

令和4年11月29日(火)
『砺波平野の歴史と散居村の成立』
高原徹(砺波市郷土資料館学芸員)

【小矢部市会場②】

令和5年3月15日(水)
『近世～近代の氷見町について』
小境遼太(氷見市立博物館主任学芸員)

【氷見市会場①】

令和4年6月11日(土)
『日本遺産・北前船寄港地「伏木」』
仁ヶ竹亮介(高岡市立博物館主幹学芸員)

【氷見市会場②】

令和4年7月22日(金)
『木曾義仲と巴御前について』
船見幸広(小矢部市商工観光課課長補佐)

【射水市会場】

令和5年3月5日(日)
『南砺市ゆかりの作家たち 石崎光瑤―至高の花鳥画を求めて―』
渡邊一美(南砺市立福光美術館学芸員)

【砺波市会場】

令和4年11月10日(木)
『猛将 木曾義仲 ～倶利伽羅峠に想いを馳せて～』
船見幸広(小矢部市商工観光課課長補佐)

令和7年度までに、6市共通のテーマでの合同企画展が開催できるよう調整を進める。

とやま呉西圏域連携事業の主な取り組み

20 呉西圏域ポイントサービス事業

6市共通テーマとなる各市の事業に参画する市民にポイントを付与し、一定のポイント数に応じ、行政サービスや施設利用等に使用できる金券や特産品等と交換できるサービスを検討・実施する。令和4年度で5年目。

健康ポータルサイト「からだナビ」

健康づくり無関心層が健康づくりを実践できるきっかけをつくり、「域内の住民の健康づくり意識を高める」。南砺市が立ち上げた健康ポータルサイト「からだナビ」を6市で活用し、圏域住民の健康づくりを図る。



「元気とやまかがやきウォーク ～呉西6市ウォーキングミッション～」

富山県公式スマホアプリ「元気とやまかがやきウォーク」と連携した「呉西6市ウォーキングミッション」を開催。メタボリックシンドローム該当者が多いため、「歩く」ことに取組む。イベント期間中、6市の代表的なウォーキングコースを歩くミッションを達成した方に、呉西6市の特産品を抽選でプレゼント。

【対象者】

6市に居住する18歳以上の方

【日程】

令和4年11月1日～12月31日



とやま呉西圏域連携事業の主な取組み

21 企業誘致の一体的推進

圏域における企業誘致を促進するため、立地環境のPR活動や企業ニーズ把握のための調査、域内外の企業間のマッチング等に一体的に取り組む。

とやま呉西圏域ビジネス交流交歓会2022 in 大阪(令和4年10月18日)

北陸新幹線の開通を契機に首都圏とのアクセスが大幅に向上し、さらに2023年度末の金沢～敦賀間の開業に向けた延伸工事など、今後、交通インフラの整備が進む関西圏との結びつきを深め、主要企業、ベンチャー企業をはじめ多様な企業との情報の交流、人的ネットワークの形成、企業誘致の促進を図る。

講師:経済ジャーナリスト 須田 慎一郎 氏
演題:「今後の日本経済について」

とやま呉西圏域 高松市・新水市・米原市
津高市・小矢部市・尾道市

ビジネス交流交歓会 2022 in 大阪

参加無料
18:30～19:30
定額150名

開催日: 令和4年 10月18日(火) 18:30～19:30

講師: 須田 慎一郎 氏

会場: ANAクラウンプラザホテル大阪 3階 万葉の間

とやま呉西圏域



参加: 54団体 120名

とやま呉西圏域連携事業の主な取組み

22 就業マッチング支援事業

圏域による合同就職説明会等の実施、Uターン・Iターン就職支援、圏域内企業に対する総合的な求人サポート(首都圏の就職説明会への出展支援や魅力発信セミナーの開催等)を通じて、企業の魅力を求職者へ発信することにより首都圏への人材流出を防ぎ雇用創出につなげる。

採用担当者向けオンラインセミナー(令和5年2月27日)

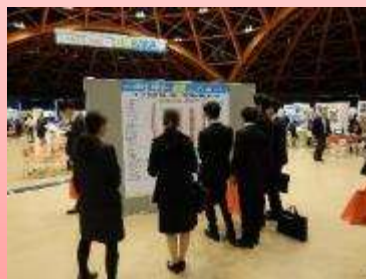
- <テーマ> 第一部「企業コミュニケーションデザインの魅力」
第二部「Z世代をトリコにする、イマドキの就活スタイル」
- <講師> 富山大学芸術文化学部 岡本 知久 氏
- <ゲスト> 富山大学就職・キャリア支援センター 尾山 真 氏
- <司会> さだ ありさ

富山県西部 就活フェス in 高岡テクドーム(令和5年3月7日)

学生や転職希望者を対象に『就活フェス in 高岡テクドーム』と題して、富山県西部の企業が参加する合同企業説明会を開催。昨年度まで実施していたWEB(Zoom)による企業説明会を見直し、令和4年度は3年ぶりに高岡テクドームを会場として実施。

- 出展企業数: 約100社
- 会場: 高岡テクドーム

R1年までの開催風景→
(高岡テクドーム)



とやま呉西圏域連携事業の主な取組み

23 広域防災連携事業

圏域内で連携し、地域防災を支援する防災士を育成し、自主防災組織の活動の支援・活性化と防災力の強化を図る。

防災講習会(令和4年5月22日)

会場:高岡市役所 8階802会議室

<テーマ>

洪水に備えた災害図上訓練

<講師>

特定非営利活動法人富山県防災士会
野原 光昭 氏

参加者:36名



防災講演会(令和5年2月5日)

会場:ふくおか総合文化センター1F 文化ホール

【第1部】災害伝承語り部による防災講演会

<テーマ>

「私の3.11と明日への備え」～女性目線の防災対策～

<講師>

草 貴子 氏(宮城県仙台市)

参加者:6市の防災士約210名

【第2部】消防庁による防災事業の説明

<テーマ>

「タイムライン防災」

<講師>

国民保護・防災部地域防災室 課長補佐 鈴木 知基 氏



災害備蓄

災害時に必要な資機材や生活必需品等について、各市の備蓄計画に基づき連携備蓄を行う。

とやま呉西圏域連携事業の主な取組み

28 移住・定住トータルサポート事業

都市圏との交流推進や圏域内への移住・定住に関する総合的支援の展開を図る。

「ふるさと回帰フェア2022」共同出展 (令和4年9月25日)

「地方暮らし」や「ふるさとへの回帰」を考えている方を対象とした国内最大級の移住マッチングイベントに、6市が共同出展。6市のブースでは、デザインを統一した「呉西圏域テーブルクロス&椅子カバー」を使用。



←呉西圏域6市
共通デザインの
テーブルクロス
&椅子カバーで
一体感を演出

とやま呉西圏域 オンライン移住イベントの開催

第1回 R4.11 「自分を満たす、家族を満たす 親子移住のはじめ方」

第2回 R4.12 「地域を見つめ、地域と創る 伝統×クリエイティブな働き方」

将来的な圏域への移住・定住の推進や関係人口の創出を図ることを目的に、移住者同士のトークをメインとしたオンライン移住イベントを2回にわたり開催。



とやま呉西圏域 ランチ付き首都圏イベントの開催

R5.1 「キャンプにサウナに魚突きまで?!

2023年は 海にも山にも近いまちで暮らそう」

参加: 14組16名

自然やアウトドアに興味がある層を対象とした対面による移住イベントを都内で開催。射水市、氷見市への移住者をゲストに招き、移住者同士のトークと圏域の食材を用いたランチにより圏域の魅力を発信。



とやま呉西圏域連携事業の主な取組み

29 職員人事交流・統一的な職員研修

少子高齢化、人口減少等の変革時代において、今後は呉西6市で地域課題解決のために協働していくことがますます重要になることから、シミュレーション演習やグループ討議を通して、政策形成の基礎を学ぶとともに、呉西6市が直面する地域課題の理解を深め、圏域内の職員連携の強化を図る。

職員力向上研修(令和4年11月18日)

禁止・制約措置で人を動かすのではなく、相手の心をくすぐり、よい行動へと動かす工夫「ナッジ」を学ぶ職員研修会を6市合同で開催。

自治体職員として市民の心をくすぐり、期待する行動を促す方法を学び、実践へとつなぐ。

【会場】オンライン(各市会議室)

【内容】

講義「はじめてのナッジ」

ワーク「ナッジを使ってチラシを改善してみよう！」

【講師】

青森大学 客員教授 竹林 正樹 氏

参加者:6市の職員 計46名



とやま呉西圏域連携事業の主な取組み

31 地図情報システムデジタル航空写真共同撮影事業

GIS(地理情報システム)デジタル航空写真撮影及びデジタルオルソ画像を作成することにより、土地及び家屋の現況について、正確かつ効率的に把握し、税務行政の適正化及び住民サービスの向上を図るとともに、航空写真撮影等の各市の費用負担を軽減することを目的に業務を実施する。令和4年度は、令和元年度に続く2回目の実施。

※オルソ画像:GISで地図と重ね合わせた利用等ができるように位置等を補正した画像

[主な取組]

- ・共同撮影に向けた協議・検討
- ・一括業務委託による撮影およびオルソ画像作成
(GISへの搭載は各市で実施)



[令和4年度]

圏域6市の協議の結果、参加の意向のあった高岡市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市の5市にて共同撮影を実施(3年に1回の撮影ペース)。

4月 入札及び契約

5月 デジタル航空写真撮影・デジタルオルソ作成

12月 成果品の納品